

令和6年度 事業計画

- ◆ 万博記念公園内の一施設として、展示の質の向上や入館者の満足度向上に努め、園内の賑わい創出に貢献します。
- ◆ 不特定多数の入館者の増加に心がけ、また関連の民芸館・美術館・博物館・大学および百貨店ミュージアム等と連携を強めて民芸運動の普及啓発に努めます。
- ◆ 公益財団法人として、事業運営の安定した財政基盤を固めて、真に公益性の高い施設運営を目指します。

1. 民芸に関する公開展示事業

(1) 春季特別展

- ・ 展覧会名称：「そばちよこ ―衣装持ちの器―」
- ・ 開催時期：令和6年3月2日(土)から7月16日(火)

- ・ 記念講演会：演題：「古伊万里・そば猪口の変遷 ―多彩な文様の魅力―」
講師：大橋康二先生（佐賀県立九州陶磁文化館 名誉顧問）
日時：令和6年6月9日(日)
会場：国立民族学博物館・第5セミナー室
定員：90名（予約制）
参加費：聴講料300円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）

- ・ 特別記念講演会：演題：「ケハレと民藝」
講師：土井善晴先生（料理研究家）
日時：未定
会場：国立民族学博物館・第5セミナー室
定員：90名（予約制）
参加費：聴講料300円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）

(2) 秋季特別展

- ・ 展覧会名称：「筒描きと注染」（仮）
- ・ 開催時期：令和6年9月7日(土)から12月17日(火)

- ・ 記念講演会：演題：未定
講師：土田真紀氏（美術史家）
日時：令和6年10月中旬～11月初旬
会場：国立民族学博物館・第5セミナー室
定員：90名（予約制）
参加費：聴講料300円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）

2. 民芸関連機関との連携を通じた調査研究、収集ならびにショップ事業

- (1) 春季・秋季特別展関連の民芸品を中心に窯元、出版、家具・染織・紙製作者を通じ、作品を収集し、不特定多数の入館者(ミュージアムショップのみの来場者含む)に廉価で販売。
- (2) 全国17箇所の民芸館および関連の美術館・博物館の展示会情報を不特定多数の入館者(ミュージアムショップのみの来場者含む)に提供。

3. 民芸に関する調査研究ならびに普及啓発事業

- (1) みんなげいゼミ及びワークショップ
様々な分野の指導講師による不特定多数の来館者を対象とした研修を実施することにより、民芸の基本的な知識について、普及啓発を図ることを目的として実施する。
秋季特別展の開催期間中のものは未定。

①みんなげいゼミ

演題：「白磁の仕事」
講師：石飛勲氏（白磁工房 陶工）
日時：4月7日（日）
会場：大阪日本民芸館会議室
定員：20名（予約制）
参加費：300円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）

②みんなげいゼミ

演題：「民藝運動とそば猪口」
講師：小野絢子（大阪日本民芸館学芸員）
日時：6月23日（日）
会場：大阪日本民芸館会議室
定員：20名（予約制）
参加費：300円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）

③はじめての「民藝」

演題：「民藝運動と共に歩んだ人々」
講師：小野絢子（大阪日本民芸館学芸員）
日時：3月24日（日）
会場：大阪日本民芸館会議室
定員：20名（予約制）
参加費：300円（大阪日本民芸館の入館料が別途必要）
なお、次回は秋季特別展に合わせ開催予定

- (2) ギャラリートーク<学芸員による展示解説>
当館学芸員による、不特定多数の来館者を対象としたギャラリートークを実施することにより、開催中の展示に関し、より深く理解できるように導き、民芸の普及啓発を図ることとする。
実施は月2回を原則に、全18回を予定する。

(3) 民げい市

関西圏を中心とした作り手による陶磁器、木漆工作品・染織の展示販売を通じ、民芸の普及啓発を図るとともに若手作り作家を支援する。

日時：令和6年5月11日(土)、12日(日)

会場：大阪日本民芸館周辺

参加民芸作家：20名程度 令和5年の来場者は約1,642名

参加費：無料

4. 資金調達ならびに設備投資について

令和6年度において、資金調達ならびに設備投資は予定しない。